

統合実習
実習指導要項

統合実習

1 実習のねがい

看護基礎教育を終了して看護師として働くことは、高度な医療技術に対応する知識、看護師として状況を把握し問題を解決していく力、技術や医療チームの一員として責任を持ち働く自覚などが求められる。統合実習では、専門領域別実習を終えた後、看護師の実務に近い形で看護を実施することを体験し看護基礎教育から臨床へつなげていきたい。時間を意識して1日の行動計画を立てる思考や状況判断力の基盤を学び、今まで学んできた知識を活用し柔軟に看護を考えていきたい。具体的には、複数患者の受けもちを通し短時間で患者の全体像をとらえて、優先順位を考え時間を意識して1日の行動計画を立て患者に必要な援助を体験していく。その日の患者の生活を考える際には、患者情報だけでなくその日に行われる検査や治療を考慮して生活援助を計画していかなければいけないことに気づき、日々変化していく患者に合わせたケアについて、指導を受けながら考えていけることを目指す。そのために看護師や多職種の力を借り、調整が取れるようになってほしい。夜間実習では、夜間の療養環境と看護体制を知ること、少ない人数の夜勤体制であっても患者の安全を守るためにチームの中で連携を図り患者の要望に応じていく姿勢を学んでほしい。チームの一員として看護師とともに行動する経験や看護管理実習で学んだ管理の実際から、看護師として責任を持って働く意識を高めてほしい。手術室、外来、救急センターをはじめとする病院における部門の見学を通し、看護師に求められている役割を考え、看護師に必要な姿勢と自己の課題を見出し、看護専門職者として働く上での基盤を整えていきたい。

2 実習目的

チーム医療を担う看護専門職の役割を理解し、臨床診断思考を活用しながら看護を実践する能力を養う。

3 実習目標

- 1) 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる。
- 2) 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する。
- 3) 看護専門職者として自己の課題を明確にして取り組むことができる。
- 4) 対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護について考える。
- 5) 看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。

4 評価基準（めざす姿）

- 1) 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している。
- 2) 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。
- 3) 看護専門職者としての自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している。
- 4) 対象の人権を尊重し、対象に沿った看護の大切さについて考えている。
- 5) 医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。

5 学習内容・学習方法と指導方法

学習活動	学習内容・学習方法	評価基準	評価資料	指導方法
<p>1. 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる</p>	<p>◎実習1日目 〈学内オリエンテーション〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合実習の目的・目標・評価規準、統合実習での学習内容・方法を踏まえ自己の目標を明確にする。 ・実習病棟や実習場所での留意点について確認する。 <p>〈病棟オリエンテーション・情報収集〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟指導者より病棟の特徴、看護業務の1日の流れ、病棟の構造、物品配置場所、入院患者の概要、看護方針などの説明を受ける。 ・病棟にて受け持ち患者の情報収集を行う。 ・病棟管理者より、管理者の役割と意義、管理を行う上で留意点について説明を受ける。 ・複数の受けもち患者に挨拶、情報収集、情報の分析、問題点の抽出、看護ケアのポイントを考える。 <p>◎日勤実習1日目または患者変更初日（複数患者の看護） 8：30～16：15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人部屋1室を学生2人で受け持つ、または学生1人で受け持つ場合は患者2名以上を受け持つ。 ・4人部屋のどの患者を受け持つかは患者の健康状態や経過、重症度、治療、検査、患者のスケジュールにより学生間、担当看護師と相談して決める。 ・行動計画は自己の能力（できる・できない）を判断し、時間配分を考慮して立案する。 ・朝のカンファレンスの前にカルテからの情報収集や患者のもとを訪室し患者の状態を把握、行動計画を見直し変更があれば修正を行う。 ・管理報告、病棟カンファレンスを聞き、どのようなことが話し合われているのか確認する。 ・担当看護師に実習目標、行動計画を伝え、アドバイスをもらう。 	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅰ・Ⅱ 実習状況 個別支援</p>	<p>事前に病棟指導者と打ち合わせを行い、実習オリエンテーションの調整を行う。</p> <p>看護を展開するための基礎知識の確認を行う。 受けもち患者の把握ができるように看護師から情報提供を行う。</p> <p>病棟で挙げている看護上の問題点及び看護計画についても確認できるように調整する。</p> <p>学生が担当看護師と打ち合わせができているか確認する。 学生が自ら担当看護師と調整を図り、患者の問題点抽出、ケアのポイント、看護の方向性について相談できているか、複数の患者を受けもつ際に配慮する点などのアドバイスを受けられているか確認する。</p> <p>受けもち患者の申し送りがどのように行われているのか、担当看護師から日勤リーダーへの申し送りを確認できているか、また、病棟</p>

<p>1. 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受けもち患者、家族、カルテなどより情報収集を行い、患者の状態を把握する。収集した情報より、患者の問題点を抽出し、ケアのポイントを挙げ、看護の方向性について担当看護師からアドバイスを受ける。 ・行動計画は対象の望ましい姿に向け、ケアの優先順位や看護師との調整、ケアの根拠を明確にする。 ・行動計画に沿って受けもち患者の援助を実施、評価を行い、翌日の看護実践につなげる。 ・担当看護師への報告はいつ行うのか看護師に確認し緊急性のある場合は直ちに報告する。 ・担当看護師への報告はバイタルサインの値や観察したことを伝えるだけでなくアセスメントも含め報告を行う。 ・翌日の複数患者の看護計画を立案するために優先度の考え方、ケアについて担当看護師よりアドバイスを受ける。 ・日勤チームリーダーへの報告を聞き、受けもち患者の状態やケアの方法を共有する手段を学ぶ。 ・複数の受けもち患者への援助を実施し、望ましい姿になったのか、援助の方法は患者に沿った方法であったのか、実習目標は到達できたのか、本日の学びについて担当看護師と振り返る。 ・翌日の援助の相談をしてアドバイスをもらう。 ・看護技術到達度チェックリストを確認し、その日に実施した項目について担当看護師の印を受ける。 	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅰ・Ⅱ 実習状況 個別支援</p>	<p>の流れを理解できているかを確認する。</p> <p>学生が担当看護師に報告する際にSOAPを記入し、わかりやすく自己の考えを伝えているか確認する。</p> <p>翌日の行動計画立案に向けて指導を行う。</p>
	<p>◎日勤実習 2日目～4日目（複数患者の看護） 8：30～16：15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人部屋1室を学生2人で受け持つ、または学生1人で受け持つ場合は患者2人以上を受け持つ。 ・4人部屋のどの患者を受け持つかは患者の健康状態や経過、重症度、治療、検査、患者のスケジュールにより学生間、担当看護師と相談して決める。 ・行動計画は自己の能力（できる・できない）を判断し、時間配分を考慮して立案する。 			<p>1日の計画表を確認し、複数患者に対しての看護実践を行う際の優先度やそれぞれの患者の生活を考えた計画であるように助言する。計画立案して学んだことが記録上に表現できているか確認する。</p>

<p>1. 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のカンファレンスの前にカルテからの情報収集や患者のもとを訪室し患者の状態を把握、行動計画を見直し変更があれば修正を行う。 ・管理報告を聞く。 ・朝の病棟カンファレンスに参加する。 カンファレンスでは受け持ち患者の昨夜～朝の情報、受け持つ上で注目していること、計画しているケアについて発表する。 ・担当看護師に実習目標、行動計画を伝え、アドバイスをもらいプランの修正を行う。 ・計画しているケアが実施できるように担当看護師と調整を行う。 ・同室患者を受け持っている学生と一緒に環境整備を行う。 ・受け持ち患者への援助を計画に基づいて実施し、記録・報告を行う。 ・受け持ち患者の清拭・陰部洗浄、体位変換などのケアに入り、患者の状態を把握する。 ・病棟のスケジュールに沿って受け持ち患者以外の清拭・陰部洗浄、体位変換などのケアを積極的に行う。 ・バイタル測定および症状の観察を行い、患者の状態を把握する。 ・担当看護師への報告はいつ行うのか看護師に確認する。緊急性のある場合は直ちに報告する。 ・複数の受けもち患者への援助を実施し、望ましい姿になったのか、援助の方法は患者に沿った方法であったのか、実習目標は到達できたのか、本日の学びについて担当看護師と振り返る。 ・翌日の援助の相談をしてアドバイスをもらう ・看護技術到達度チェックリストを確認し、その日に実施した項目について担当看護師の印を受ける。 ・担当看護師と共に日勤チームリーダー看護師に患者の状態を報告する。 <p>◎日勤実習5日目（看護業務の見学・看護師と共にケアの実施） 8：30～16：15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理報告、病棟カンファレンスを聞く。 ・担当看護師に挨拶をし、本日の目標を伝える。 ・看護師の行動を見学し、援助を一緒に行う。 	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅰ・Ⅱ 実習状況 個別支援</p>	<p>技術到達度チェックリストを確認しどのような技術を実施できたか、看護師のサインがもらえているか確認する。</p> <p>チームの一員として意識し、積極的にケアに参加しているか確認する。</p>
--	---	---	---	--

<p>1. 医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当看護師の行動から複数患者を受け持つ中で何を優先してケアを実施しているか考え、ケア時の留意点を確認する。(担当看護師に合わせて休憩をとる) ・来年4月から看護師として働くことを意識しチームの一員としてどのように行動したらいいか考える。 ・自ら看護師と調性し実施できるケアを積極的に行う。 <p>〈学生カンファレンス〉 15:00～16:00 (1日の中で時間調整をはかり1時間程度行う) 日勤見学実習の学生で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複数患者を受けもち、看護を展開する上で大切となることは何か。 2. 看護専門職者として働く上で大切にしたいこと、自己の傾向をふまえ、どのような看護師を目指したいか。 3. 事前レポート、事前カンファレンスで明確にした自己の課題を改善するための取り組みはどうであったか。 4. 統合実習での学び 上記1～4について意見交換を行う。 	<p>1. 医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅲ 実習状況 個別支援</p> <p>学生 カンファレンス</p>	<p>学生カンファレンスに参加できるように調整できているか確認する 学生カンファレンスは日勤見学実習の学生のみで実施、1時間程度で1～4の視点で意見交換ができているか確認する。</p>
<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<p>◎日勤実習1日～4日目（複数患者の看護） 8:30～16:15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者の転棟、退院、医療部門での検査・治療の際にどのような連携がとられているか学ぶ。 ・担当看護師から日勤チームリーダー看護師への連絡・報告・相談を聞き、看護師間での連携について学ぶ。 <p>◎日勤実習5日目（看護業務の見学・看護師と共にケアの実施） 8:30～16:15</p>	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅰ・Ⅱ 実習状況 個別支援</p> <p>統合実習 記録用紙Ⅲ</p>	<p>複数の受け持ち患者が入院生活、治療を受けるうえで看護師間、他病棟、看護部門、医療部門とどのような連携がとられているか確認できているか関わる。</p>

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理報告、病棟カンファレンスを聞く。 ・担当看護師に挨拶をし、本日の目標を伝える。 ・看護師の行動を見学し、援助を一緒に行う。 ・来年4月から看護師として働くことを意識しチームの一員としてどのように行動したらいいか考える。 ・自ら看護師と調性し実施できるケアを積極的に行う。 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>実習状況 個別支援</p>	
	<p>◎看護管理実習 8:30～16:15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の看護管理について復習し実習に望む。 ・看護師長に挨拶を行い、実習目標を伝える。 ・看護師長の業務を見学し、看護管理の具体的方法を知る。 ・看護管理者としてどのようにスタッフや患者、家族との関わっているのか知る。 ・病棟管理を行う上で医師、医療部門・他病棟・外来との連携の取り方を見学する。 ・看護師長に合わせて休憩を取る。 ・看護管理に対する自己の考えを深め、看護を実践するための連携について考える。 ・看護師長に質問や学びを伝え、アドバイスを受ける。 ・記録用紙： 実習前：実習目標のみ記述、実習後：実施内容、実習を通してわかったこと・考えたことを記述 		<p>統合実習 記録用紙Ⅳ 実習状況 個別支援</p>	<p>看護師長業務が体験できるように調整を行う。 看護師長業務の意味を説明してもらうように、師長に働きかける。</p>
	<p>◎夜間実習 実習1日目 病棟オリエンテーションで夜勤勤務帯のタイムスケジュール、業務について説明を受ける。 14:15～21:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内で夜間担当教員よりオリエンテーションを受ける。 夜間実習の目標、何を学ぶ実習であるのか、学びたいのか、計画しているケア、夜間実習での動き、集合時間について確認する。 ・病院の更衣室でユニフォームに着替え集合時間に間に合うように病棟 			<p>夜間実習の学生が集合したら、注意事項の説明と連絡方法、並びに終了時の集合場所を説明する。 夜間実習時は病院更衣室を使用するため、案内して各実習場所へ行けるように促す。 夜間担当教員は各病棟をラウンドし、夜勤担当看護師に挨拶し、連絡方法の確認を行う。</p>

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<p>へ移動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受け持ち患者の情報収集を行う。 夜間勤務帯に必要な準備の実際を見学する。 夜間実習の学生担当看護師、他の夜勤看護師に挨拶する。 学生担当看護師に実習目標と日勤実習で受け持った患者1名に対して、学生が実施できるケアの相談を行う。 日勤看護師からの申し送りに参加し、夜間勤務帯の看護に必要となる情報を把握する。 夜勤看護師間で行われるカンファレンスを見学、また自分が行うケアについて目的・根拠・方法を伝える。 計画したケアを看護師と調性し実施する。 夜間帯の対象の状態の理解と看護の役割について学ぶ。 夜間の安全管理、夜間勤務帯のケアの調整方法、看護師間の連携の回り方を学ぶ。 就寝時の看護について学ぶ。 実習終了前に担当看護師と振り返りを行う。 実施した援助の方法は患者に沿った方法であったのか、実習目標は到達できたのか、本日の学びについて担当看護師と振り返る。また質問や夜勤実習での学びを伝える。 <p style="text-align: center;"><u>※21:00 終了→2階エレベーター前集合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 記録用紙 実習前：実習目標・計画を記述 実習後：実施内容、実習を通してしてわかったこと・考えたことを記述 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙IV 実習状況 個別支援</p>	<p>夜間実習担当看護師より、受けもちチームの患者情報について説明する。</p> <p>申し送りで看護師が行っている夜間の看護のポイントを確認し、共有する。</p> <p>教員はラウンドを行い、受けもち看護師とともに実践できているか調整する。</p> <p>実習終了時に学生を更衣室へ案内し、安全に帰宅できるように促す。</p>
	<p>◎看護部門実習 8：30～16：15 外来・救急外来・手術室・内視鏡室・透析室・外来化学療法室・HCU 7か所のうち1か所で実習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習したことを復習して実習に臨む。 各実習場所の集合時間に合わせ移動する。 記録用紙：実習前：実習目標のみ記述 			<p>事前に看護部門の師長、指導者と実習方法について調整を行う。</p> <p>学生が実習場所、集合時間を理解できているか確認する。</p> <p>技術到達度チェックリストを確認</p>

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<p>実習後：実施内容、実習を通してしてわかったこと・考えたこと</p> <p>【外来実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8：10に外来師長室へ集合 ・ 外来師長室にて挨拶を行い、担当看護師に本日の目標を伝える。 ・ 外来診察開始まえの打ち合わせを見学し、対象を迎えるための準備について学ぶ。 ・ 担当看護師とともに各外来へ移動する。 ・ 外来を受診する対象の受診の流れを知る。 ・ 外来業務を見学し、医師、病棟、他科外来、各部門とどのように連携しているのか学ぶ。 ・ 該当病棟の診療科の外来において、受診する対象の状況を把握する。 ・ 外来看護師としての対象への関わり方、観察の視点、留意点を学ぶ。 ・ 退院後の対象の状況、入院に至る経過を理解し、看護の役割について考える。 ・ 外来診察終了後の看護師の行動にも注目し翌日の外来診察のための準備について知る。 ・ 休憩は担当看護師に合わせて取る。 ・ 対象の身体的特徴や言動、思いにも注目し看護師の行動の理由を考える。 ・ 担当看護師と振り返りを行い、外来看護への質問や学びを伝える。 <p>【救急外来実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8：10までに救急外来看護室に移動し学生担当看護師を確認、挨拶をする。 ・ 8：15～の朝の打ち合わせを見学する。 ・ 学生担当看護師とともに行動してケアの実際を見学する。 ・ 緊急に受診が必要である対象の看護について考える。 ・ 救急外来の看護師が医師、病棟、他科外来、各部門とどのように連携しているのか学ぶ。 ・ 救急外来の役割 入院調整の実際について学ぶ。 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅳ 実習状況 個別支援</p>	<p>しどのような技術を実施できたか、看護師のサインがもらえているか確認する。</p> <p>グループ内での共有 看護部門実習で学んだことをグループ内で伝え合う機会を作り、各部門の専門性と看護師に求められる役割について意見交換を行う。</p>
---	---	--	---	---

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・患者や家族はどのような状況でどのような思っているのかにも注目し必要な看護について考える。 ・実習終了前に担当看護師と振り返りを行う。質問や夜勤実習での学びを伝える。 ・看護技術到達度チェックリストを確認し、その日に実施した項目について担当看護師の印を受ける。 <p>【手術室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8：15に手術室更衣室へ移動しツーピースタイプの手術着に着替える。 ・手術着の左胸に実習用名札をつける（紐は外す）。 ・手術室の看護室にて挨拶をする。 ・持ち物はメモ帳と筆記用具、看護技術チェックリストのみとする。 ・担当看護師に実習目標を伝え、朝のカンファレンスに参加する（患者情報を確認する）。 ・担当する患者の同意は手術室入室時看護師が同意を取るなのでその時の状況に応じ挨拶を行う。 ・手術室で行われていることを見学する。 ・患者受け入れの準備について学ぶ。 ・手術室で行われている看護技術について学ぶ。 ・手術室の医療チームの連携について学ぶ。 ・手術室で行われている医療安全の具体的な方法について学ぶ。 ・手術室と病棟との連携・継続看護の方法について学ぶ。 ・担当看護師に合わせて休憩を取る。 ・看護技術到達度チェックリストを持参し、昼休み、15：00以降に確認をして、担当看護師にサインをもらう。 ・担当看護師と振り返りを行い、手術室看護への質問やの学びを伝える。 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅳ 実習状況 個別支援</p>	
---	--	--	---	--

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<p>【内視鏡室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8：10に透析室看護室に行き学生担当看護師を確認、挨拶をする。 ・ 8：15～透析室で行われる打ち合わせを見学する。 ・ 学生担当の看護師と行動する。 ・ 内視鏡検査の実際を知る・内視鏡室の業務や役割を知り、病棟や外来、多職種との連携、看護の役割について考える。 ・ 内視鏡検査を受ける対象の理解を深め、患者に必要な看護を考える。 ・ 実習終了までに担当看護師と振り返りを行い、内視鏡室の看護への質問やの学びを伝える。 <p>【透析室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8：10に透析室看護室に行き学生担当看護師を確認、挨拶をする。 ・ 8：15～透析室に行われる打ち合わせを見学する。 ・ 学生担当の看護師と行動する。 ・ 透析室で行われている看護の実際を知る。 ・ 透析治療を受ける対象の理解を深め必要な看護を考える。 ・ 透析室の看護業務や役割を知り、病棟や外来、多職種との連携について考える。 ・ 透析療法を受けている患者や家族の思い、地域で暮らす生活のしづらさについて知る。 ・ 実習終了までに担当看護師と振り返りを行い、透析室の看護への質問やの学びを伝える。 <p>【外来化学療法室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8：10に外来化学療法室に行き、担当看護師に挨拶、実習目標を伝える。 ・ 化学療法室の学生担当の看護師と行動する。 ・ 化学療法室の業務や役割を知り、病棟や外来、多職種との連携、看護の役割について考える。 ・ 化学療法を受けている患者や家族の思い、地域で暮らす生活のしづらさ 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙Ⅳ 実習状況 個別支援</p>	
---	--	--	---	--

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<p>について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学療法室を受ける対象の理解を深め必要な看護を考える。 実習終了までに担当看護師と振り返りを行い、化学療法室の看護への質問やの学びを伝える。 <p>【HCU実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 8：20にHCUに移動し学生担当看護師を確認、挨拶、実習目標を伝える。 何を学びたいのか、どのようなケアに入りたいのか具体的に伝える。 8：30～申し送りの際に全体にむけ挨拶を行う。 学生担当看護師とともに行動してケアの実際を見学する。 HCUという特殊な環境で治療をしている対象の看護について考える。 HCUの看護師が医師、病棟、外来、多職種とどのように連携しているのか学ぶ。 対象はどのような状況でどのような思いでいるのか、対象にも注目し必要な看護について考える。 実習終了前に担当看護師と振り返りを行う。 HCUで行われている看護についての学びや質問を伝える。 看護技術到達度チェックリストを確認し、その日に実施した項目について担当看護師の印を受ける。 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙IV 実習状況 個別支援</p>	
	<p>◎医療部門実習 8：30～16：15</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤科・検査科・栄養科・放射線科・臨床工学科 リハビリテーション科・地域医療支援室 <p>7か所のうち1か所で実習</p> <ul style="list-style-type: none"> 各医療部門について既習したことを復習して実習に望む。 各医療部門の業務や役割を知り、看護との連携、医療チームにおける看護師の役割について考える。 指定時間までに実習場所に行き、学生担当を確認、挨拶して実習目標を伝える。 			<p>事前に医療部門の担当者と実習方法について調整を行う。</p> <p>各部門の見学を通して、医療チームの連携について考えるよう促す。記録上不足している視点があれば助言する。</p> <p>グループ内での共有 医療部門実習で学んだことをグループ内で伝え合う機会を作り、各</p>

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習終了前に振り返りの時間を作っただき、質問や学びを伝え、アドバイスを受ける。(アドバイスは記録に反映させる。) ・医療チームの役割や看護との連携について、学びや自己の考えを具体的に記録用紙に記述する。 <p>【薬剤科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 : 1 5 に 1 階正面玄関薬剤受け渡しカウンターに移動 ・ 薬剤の処方→調剤→払い出し、一連の流れを理解する。 外来窓口での患者への対応を見学し、薬物療法を受ける患者の特徴を理解する。 ・ 服薬指導の場面の見学を通して、対象に沿った指導のポイントについて理解を深める。 <p>【検査科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 : 5 5 に 2 階検査室受付に移動 ・ 検査科で行われている検査の実際を知る。 ・ 採血などの検体の検査方法を知り、検査における看護師の役割について理解を深める。 <p>【栄養科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 : 2 5 に 2 階栄養科へ移動 ・ 病院食の処方から、調理、配膳までの流れを理解する。 ・ 治療食の理解を深める。 ・ 栄養指導の見学を通して、必要な指導ポイントの理解を深める。 <p>【放射線科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 : 2 0 に 1 階放射線科受付横の入り口から入る。 ・ 放射線科での検査の実際を知る (CT・MRI・アンギオ等の見学) ・ 放射線科で行われている検査や治療に関わる看護師の役割について学 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙IV 実習状況 個別支援</p>	<p>部門の専門性と看護師に求められる役割について意見交換を行う。</p>
---	---	--	--	---------------------------------------

<p>2. 医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する</p>	<p>ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査や治療を受ける対象の理解を深める。 <p>【リハビリテーション科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8：20に1階リハビリテーション科へ移動 ・リハビリテーションの実際を知る。 ・リハビリテーションを受ける対象を理解する。 <p>【臨床工学科実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8：20に地下の中央器材庫に移動 ・臨床工学科での業務の実際を知る。 ・臨床工学技士が関わる対象の理解を深める。 <p>【地域医療支援室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8：20に地域医療支援室に移動 ・地域医療支援室で何を学びたいのかを具体的に伝える。 ・地域医療支援室での看護師が医師、病棟、外来、多職種とどのように連携しているのか学ぶ。 ・地域支援室、ケアマネージャー、訪問看護ステーション等との連携の実際について知る。 ・地域医療支援室の看護師の業務内容・看護の役割について考える。 ・ケースカンファレンスに参加する。 ・退院支援や地域連携、在宅療養を支えるための看護とはなにか考える。 ・入院中の患者が地域に戻るために入院中からどのような支援が必要であるのか考える。 ・実習終了前に担当看護師と学びや質問を伝え振り返りを行う。 	<p>2. 医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている</p>	<p>統合実習 記録用紙IV 実習状況 個別支援</p>	
---	---	--	--	--

<p>3. 看護専門職者としての自己の課題を明確にして取り組むことができる</p>	<p>日勤実習、夜間実習、看護管理実習、看護部門実習、医療部門実習を通して事前レポート、学内 OT で明確にした自己の課題と取り組みについて意識して行動する。</p> <p>〈学内カンファレンス〉 実習 OT 時に、事前レポートで明確にした自己の課題について学生間で意見交換を行う。</p> <p>実習前の取り組み：自己の課題の明確化 〈事前レポートについて〉 テーマ：『看護専門職者として働くうえで自己の課題と実習での取り組み』について具体的に記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前レポートは、看護専門職者として働くことを意識して、自己の課題を明確に表現する。またその課題に対してどのように考え行動しようとしているのかを述べる。 ・自己の課題を明確にするために①対象理解 ②倫理観 ③探求心 ④実践力 ⑤調整力の5つの視点について 6 クール目までの実習場面をあげ自己の課題を具体的に表現する。 ・事前レポートは指定の記録用紙に記述する。 ・実習 OT 時に学内で自己の課題についてグループ間で発表し、メンバーより助言を受ける。「できない」ことばかりにこだわらず、「できているところ、看護をしていく上で強みとなること」も見出していく。 <p>〈学生カンファレンス〉 15:00～16:00 日勤見学実習日に開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『看護専門職者として働く上で大切にしたいこと』を話し合い、自己の傾向をふまえ、どのような看護師を目指したいか考える。 ・複数患者を受けもち、看護を展開する上で大切となることは何かを考える。 	<p>3. 看護専門職者として自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している</p>	<p>統合実習 記録用紙 I・II・III・IV 事前・事後 レポート 学生 カンファレンス 実習状況 個別支援</p>	<p>事前レポートを踏まえ学生カンファレンスで自己の課題をグループで共有し、どのように取り組もうとしているのか、メンバー間で共有できるように助言する。 学生のできないことばかりに注目せずに行っているところ、強みとなるところも意見が出るように助言する</p> <p>翌日の行動計画立案に向けて指導を行う</p> <p>カンファレンスの中で、看護管理、各部門との連携、医療チームの連携、継続看護、期待される看護師の役割について考えることができるよう促す。 カンファレンスを通して、自己の考えを深めることができるように促す。</p>
---	---	---	--	---

<p>3. 看護専門職者としての自己の課題を明確にして取り組むことができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前レポート、事前カンファレンスで明確にした自己の課題を改善するための取り組みはどうであったか ・統合実習での学びなどを視点にカンファレンスを行う。 <p>〈実習後レポート〉 テーマ：『統合実習を通して学んだことと看護専門職者としての自己の歩み』：原稿用紙3枚以上 実習記録の最終提出日に記録ファイルに綴じて提出</p>	<p>3. 看護専門職者として自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している</p>	<p>統合実習 記録用紙 I・II・III・IV 事後レポート 学生 カンファレンス</p>	
<p>4. 対象の人権を尊重し対象の思いに沿った看護について考える</p>	<p>【日勤実習 1日目～5日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数患者の入院生活を送る上での生活のしづらさや思いについて考える。 ・対象の羞恥心やプライバシーに配慮し、対象の思いに沿った計画を立てる。 ・複数患者を受け持つ中で看護師がどのように人権を尊重し対象に沿った看護を実施しているのか見学し、アドバイスを受ける。 <p>【夜間実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数患者を受け持つ中で看護師がどのように人権を尊重し対象に沿った看護を実施しているのか見学し、アドバイスを受ける。 <p>【管理実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者として対象の人権をどのように考えているか見学しアドバイスを受ける。 	<p>4. 対象の人権を尊重し対象に沿った看護の大切さについて考えている</p>	<p>統合実習 記録用紙 I・II・III・IV 事前・事後 レポート 学生 カンファレンス 実習状況 個別支援</p>	<p>対象の生活のしづらさや思いについて考えているか確認する。</p> <p>複数患者を受け持つ中で看護師が人権を尊重し対象に沿った看護をどのように実施しているか注目するように促す。</p>
	<p>◎看護部門実習</p> <p>【外来実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来で診察を受ける対象の身体的特徴や言動、思いに注目し、どのような看護が大切であるか考える。 ・外来看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。 			<p>対象の生活のしづらさや思いについて考えているか確認する。</p> <p>看護師が対象の人権を尊重した関りをどのように実施しているか注目するように促す。</p>

<p>4. 対象の人権を尊重し対象の思いに沿った看護について考える</p>	<p>【救急外来】</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急外来を受診する対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。 救急外来看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。 <p>【手術室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術を受ける対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。 手術室の看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。 <p>【内視鏡室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内視鏡検査を受ける対象言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。 内視鏡室の看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。 <p>【透析室実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 透析治療を受ける対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。 透析室看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。 <p>【外来化学療法室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学療法を受ける対象の言動、思いに注目しどのような看護が大切であるか考える。 化学療法室の看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。 	<p>4. 対象の人権を尊重し対象に沿った看護の大切さについて考えている</p>	<p>統合実習 記録用紙 I・II・III・IV 事前・事後 レポート</p> <p>学生 カンファレンス</p> <p>実習状況 個別支援</p>	
---------------------------------------	--	--	--	--

<p>4. 対象の人権を尊重し対象の思いに沿った看護について考える</p>	<p>【HCU実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HCUで治療を受ける対象の言動、思いに注目し、どのような看護が大切であるか考える。 ・HCU看護師が対象に発した言動の理由を考え、アドバイスを受ける。 	<p>4. 対象の人権を尊重し対象に沿った看護の大切さについて考えている</p>	<p>統合実習 記録用紙 I・II・III・IV 事前・事後 レポート 学生 カンファレンス</p>	
---------------------------------------	---	--	--	--

統合実習 学生配置表(例)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
病棟	学生	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
1G		OT	管理	放射線	日勤	日勤	外来	日勤	日勤	夜間	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	管理	夜間	手術室	日勤	日勤	日勤(見学)	臨床工学
		OT	日勤	日勤	栄養	管理	日勤	日勤	夜間	日勤(見学)	内視鏡
		OT	検査	日勤	日勤	救急	管理	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	夜間	リハビリ	日勤	日勤	管理	日勤(見学)	外来化学療法
		OT	地域医療支援	管理	日勤	日勤	夜間	HCU	日勤	日勤	日勤(見学)
2G		OT	日勤	日勤	夜間	外来	日勤	日勤	管理	放射線	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	地域医療支援	夜間	管理	日勤	日勤	日勤(見学)	手術室
		OT	薬剤	透析	日勤	日勤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)	管理
		OT	日勤	日勤	管理	日勤	日勤	臨床工学	夜間	日勤(見学)	HCU
		OT	リハビリ	管理	日勤	日勤	外来化学療法	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	管理	夜間	日勤	日勤	栄養	救急	日勤	日勤	日勤(見学)
3G		OT	日勤	日勤	検査	管理	日勤	日勤	内視鏡	夜間	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	夜間	外来	日勤	日勤	管理	栄養	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	手術室	夜間	管理	日勤	日勤	日勤(見学)	放射線
		OT	HCU	地域医療支援	日勤	日勤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)	管理
		OT	日勤	日勤	内視鏡	日勤	日勤	管理	夜間	日勤(見学)	検査
		OT	救急	管理	日勤	日勤	臨床工学	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)
4G		OT	管理	夜間	日勤	日勤	リハビリ	外来化学療法	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	管理	薬剤	日勤	日勤	透析	夜間	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	夜間	放射線	日勤	日勤	管理	救急	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	外来化学療法	夜間	管理	日勤	日勤	日勤(見学)	栄養
		OT	外来	検査	日勤	日勤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)	管理
		OT	日勤	日勤	薬剤	日勤	日勤	管理	夜間	日勤(見学)	透析
5G		OT	内視鏡	臨床工学	管理	日勤	日勤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	管理	夜間	日勤	日勤	HCU	リハビリ	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	手術室	日勤	日勤	管理	日勤	日勤	地域医療支援	夜間	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	夜間	臨床工学	日勤	日勤	外来化学療法	管理	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	HCU	夜間	管理	日勤	日勤	日勤(見学)	リハビリ
		OT	外来	栄養	日勤	日勤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)	管理
6G		OT	日勤	日勤	管理	日勤	日勤	内視鏡	夜間	日勤(見学)	地域医療支援
		OT	手術室	管理	日勤	日勤	薬剤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	管理	夜間	救急	日勤	日勤	検査	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	放射線	透析	日勤	日勤	管理	夜間	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	夜間	内視鏡	日勤	日勤	管理	検査	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	手術室	夜間	管理	日勤	日勤	日勤(見学)	薬剤
7G		OT	放射線	HCU	日勤	日勤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)	管理
		OT	日勤	日勤	リハビリ	日勤	日勤	管理	夜間	日勤(見学)	外来
		OT	外来化学療法	管理	栄養	日勤	日勤	夜間	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	管理	夜間	日勤	日勤	透析	地域医療支援	日勤	日勤	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	救急	管理	日勤	日勤	臨床工学	夜間	日勤(見学)
		OT	日勤	日勤	夜間	内視鏡	日勤	日勤	管理	検査	日勤(見学)

夜間実習

夜間実習:14:15までに登校

病棟での開始時間は確認してください

○自家用車使用学生

病棟	月 日()					
5A						
5B						
6A						
6B						
7A						
回復						
担当						

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一步努力を要する
医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる。	医療チームの中で優先順位や根拠を考えた対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している。	対象理解 実践力 倫理観	記録用紙 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ カンファレンス 実習状況 個別支援	医療チームの中で優先順位や根拠を考えた対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している。 2 5	医療チームの中で優先順位や根拠を考えた対象の望ましい姿に向かい看護を実施している。 2 0	優先順位や根拠を考えた対象の望ましい姿に向かい看護を実施している。 1 0	対象の望ましい姿を表現し看護を実施している。 3
医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する。	医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。	調整力 探求心	記録用紙 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ カンファレンス 実習状況 個別支援	対象を支えるための多職種との連携や看護の役割について自己の考えを具体的に表現している。 2 0	対象を支えるための多職種との連携や看護の役割について表現している。 1 5	多職種の業務や看護の役割について表現している。 5	多職種の業務のみ表現している。 3
看護専門職者として自己の課題を明確にして取り組むことができる。	看護専門職者として自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している。	探求心 実践力	記録用紙 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 事前・事後 レポート カンファレンス 実習状況 個別支援	看護専門職者として自己の傾向を踏まえ課題を改善するための取り組みと振り返りを行っている。 2 5	看護専門職者として自己の傾向を踏まえ課題を改善するための取り組みをしている。 2 0	看護専門職者として自己の課題と取り組みを表現している。 1 0	自己の課題のみを表現している。 3
対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護について考える。	対象の人権を尊重し対象に沿った看護の大切さについて考えている。	倫理観		複数患者の受けもちを通し対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護の大切さを、根拠を入れながら具体的に記述している。 2 0	複数患者を受け持つ中で対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護の大切さを記述している。 1 5	複数患者を受け持つ中で対象の思いに沿った看護の大切さを表現している。 5	対象の思いについて考えている。 3
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動をとり、仲間の模範となりチームをけん引している。 1 0	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。 5	看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るという視点で自己の行動を振り返っている。 3	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。 0

実習指導者助言

実習欠課時間数
() 時間 / 90 時間

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン